

ステークホルダー信頼関係図を用いたビジネス信頼分析手法 Business Trust Analysis Method with a Trust Relationship Map of Stakeholders

笠波昌昭 *	坂口昌隆 *	小牧大治郎 *	山口俊輔 *
Masaaki Kasanami	Masataka Sakaguchi	Daijiro Komaki	Shunsuke Yamaguchi
	野田敏達 *	兒島 尚 *	
	Bintatsu Noda	Hisashi Kojima	

キーワード リバンドリング, トラスト, 不確実性, ステークホルダー

あらまし

デジタル化, ニューノーマルなど社会が大きく変化する昨今, 企業は持続可能なビジネスのために, 市場・産業の変化への柔軟な対応や, 個人に寄り添った価値提供が求められる. そこで, 企業がもつ生産手段などのリソースを分割し, それらを目的に合わせて柔軟に再構築するリバンドリング [1] が提唱されている.

リバンドリングでは利害の異なる複数のステークホルダー (企業や顧客) が関わるため, ビジネスの成功にはステークホルダー間の信頼構築が重要である. そのためには, あらかじめ想定される様々な不確実性 (他社が自社リソースを悪用しないか?, 低品質なリソースを提供しないか? など) を洗い出して対処する必要がある.

そこで我々は, ステークホルダー間の信頼関係をシンブルな記法で表現できるステークホルダー信頼関係図を新たに考案し, 本図を用いてビジネスの不確実性を分析する手法を提案する. 本手法により, ビジネス検討の初期段階から, 信頼の懸念があるステークホルダーの関係を特定し対処することで, ビジネス成功の確度を向上できる.

参考文献

- [1] 経済産業省, “デジタル市場に関するディスカッションペーパー ～産業構造の転換による社会的問題の解決と経済成長に向けて～,” <https://www.meti.go.jp/press/2020/01/20210108002/20200108002-1.pdf>, 2020.

* 富士通株式会社, 〒 211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1, Fujitsu Ltd., 4-1-1 Kamikodanaka, Nakahara-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa, 211-8588, Japan